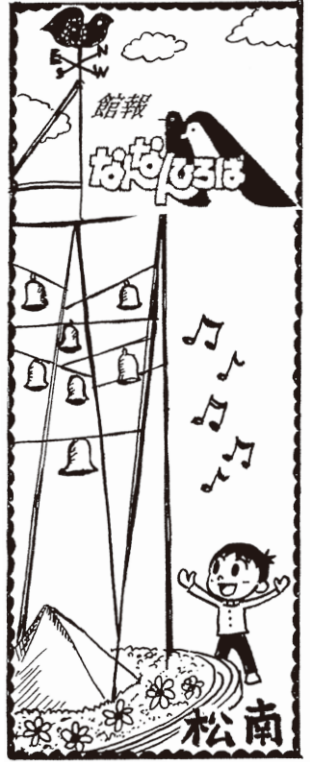




5月14日(月) 民生児童委員協議会の視察研修があり千曲市稲荷山にある「ごちゃまぜカフェ」というところに行ってきました。

障害の有無や引きこもり、親と離れて暮らす子供たちとお年寄りが笑顔でふれあえる場所が「ごちゃまぜカフェ」です。多くの活動をしている団体ハッピースポーツクラブの運営です。

## 民生委員協議会 視察研修



最初にカフェ近くで昨年完成した児童養護施設のホールで様々な事情があり親と離れて暮らす子供たちの実情など多くの話を聞きました。

クラブの代表は高山さや佳さんです。代表が団体を立ち上げたのは、自身が落ち込みどん底の時に、施設のお爺ちゃんお婆ちゃんや認知症の方、障害のある方の話を聞いて心が癒され、また逆に多くのことを学びこの方々の役に立ちたい思いで立ち上げたそうです。

「ごちゃまぜカフェ」には専用の引きこもり部屋が有ります。10代から引きこもりだした20代女性が、徐々に心を開き、人と顔を合わせ会話をすることで社会復帰されたとの話の後、本人が自分の体験をお話しされました。今はボランティアに参加をし体験を話され活躍しているそうです。

高齢のお爺ちゃんの娘は認知症に対する話し方、向き合

い方が分らずお互いに心も暗かった様ですが、カフェにきて皆さんと話をし笑顔が戻りました。娘さんもお爺ちゃんとの話し方やお爺ちゃんの気持ちが良い分かるようになり、笑顔が絶えず心穏やかに暮らす日々の中でお爺ちゃんを看取ったそうです。その時の心境や穏やかにお爺ちゃんを送れて良かったことなどを話しました。

代表が言う自分が人の為に何か出来るように出来ない、もやもやと思える事が大事だと。まず小さな事から前に踏み出す事だと。多くが心に響く講話でした。

松南地区の皆様多くのご参加を頂き有難うございました。

(岡田 實)

30周年記念コンサートを5月26日に松本市音楽文化ホールの大ホールで開催しました。

指導者斎藤俊子先生・ピアノニスト山腰智佐美先生のご指導のもと、準備は全て手作りで、全員が役割を分担しまし

た。先生の熱い思いと、私達の持てる力で頑張り、当日は思い切り歌い「やっつた〜!」と達成感を得ることができ最高の気持ちでした。熱い思いさえあれば何でも成し遂げられると確信できました。これもひとえに家族の支えや地域の方々の応援の賜物で、松南地区公民館という安心して練習できる場所があるからです。



すみれ会は「童謡唱歌の意味を考えよう」から始まり、懐かしみ楽しく歌っていき、だが「継続は力なり」を信じ、毎週木曜日にコツコツと練習を積み重ねて30周年記念コンサートになりました。みんないくつになっても向上心を持っていきます。35周年の頃にはもっと素敵なコーラスになると思います。

長い間活動してきた利用団

体の中で「昔年をとり継続が困難になったので今日で終わりに」、お世話になりました」というお礼の言葉がこの1年の間に2組程ありました。

そんな中、発表会当日のパンフレットには創立当時の仲間一人もいませんが、これからも「先輩たちの残したすみれ会」を少しずつ進化させ、素晴らしい日本文化の一つである童謡・唱歌を次世代へ歌い継いで、との思いが書かれています。

活動を通して和・生き甲斐へと繋がっていると共に、生涯学習の場として機能させており、嬉しく思っております。

(松南地区公民館)

活動を通して和・生き甲斐へと繋がっていると共に、生涯学習の場として機能させており、嬉しく思っております。



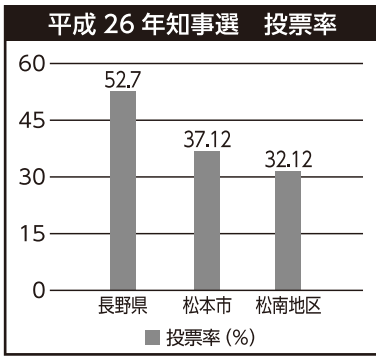
**長野県知事選挙に向けて  
明るい選挙推進協議会  
土崎 紘子**

長野県知事選、県議会議員補欠選挙が、共に8月5日(日)の投票日になりました。

前回平成26年の知事選の投票率において、県下19市の投票結果を見ますと、松本市はなんと最下位の19位。松本市の投票率は37%。そして更に、松南地区の実情は驚くばかりです。松本市三五地区の最下位で、32%でした。

68%の人が何らかの理由で棄権されているという現実が見えます。選挙権は民主主義を支える大切な権利です。私たちの意思を政治に反映させる貴重な機会です。

社会の数多くの課題を諦めないで、よりよい社会づくりの一票を投じましょう。長野県の未来は私たちの一票から



です。棄権数が多い＝投票率の低下。政治そのものを無責任に他人任せにする状態です。

私たちの願いを代表して実現してくれる人を自分の一票で選びましょう。一票を託して県政の行方を確かなものにしていきましょう。

投票率の低いまま、声の大きな少数意見で左右される、又は決定される危険は絶対避けるべきです。その為にも棄権のないよう、投票所に出かけられる工夫がなされております。

松南地区には、期日前投票所が、なんぶくプラザ一階に開設されています。

投票日に都合のつかない方は、どうぞ期日前投票をご利用下さい。利用方法は指定の投票所と同じです。むしろコンパクトで投票しやすいくらいです。再度申し上げますが、

未来に向けよりよい県政、安心の生活のために、私たちに出来る事は良い候補者を選び、棄権することなく県政参加の一票を託すことです。

選挙権も現在一八歳からです。県政の将来を見据えて、若い皆さんの未来のために、熟慮の一票を棄権のないよう投じて下さい。

**あじさい  
ウォーキング  
福祉ひろば 新田 洋子**

6月30日(土)に松南地区公民館と福祉ひろば共催の「あじさいウォーキング」で上田に行って来ました。

例年より早い梅雨明けで真夏のような暑さの中、前山寺から中禅寺、龍光院と3つのお寺をまわりました。この3つのお寺は、山際にある「あじさい小道」でつながっています。



私たちは、まずバスを降りて弘法大師が開き、鎌倉時代に長秀上人が発展させたという前山寺を拝観し「未完成の完成塔」という重要文化財に指定されている三重の塔を見ました。そこから山の中を中禅寺まで歩きます。あじさいはまだ満開ではありません

したが、色とりどりに花を咲かせていました。次に拝観したのが平安時代から鎌倉時代へかけての建築と考えられている中禅寺薬師堂です。枯山水の庭園がとても綺麗でした。塩田北条氏ゆかりのお寺、龍光院に行きそこで山菜料理を頂きました。



精進料理のため魚介類や肉は一切使わず、野菜や山菜を中心としたものでどれもこれもとても美味しくお腹いっぱいになりました。このお寺には干支を抱えているお地藏さまがいるので、是非自分の干支を探してみたいかがでしようか。

暑い中一日歩きましたが、素敵なあじさいと山の空気が静かなお寺の時間を堪能できて楽しかったです。今度はあじさいが満開の時期に行ってみたいと思います。

**コラム松南  
●大勢の方々に支えられ**

私は、数日前まで父の介護をしていました。思えば今年の1月に父の突然の入院。高齢ということもあり骨折防止の為にベッドに拘束されてしまう夜が続きました。病院側の都合も理解せざるを得ませんでした。父の姿に心が締め付けられる思いでした。あの思いから約5ヶ月近く父は家族と自宅で過ごしました。在宅介護にあたり不安はありましたが地域包括支援センターの方々のお陰で連携の体制の中、大勢の方々に支えて頂き、また色々な方々に迷惑をお掛けしながらも傍らで父の最期を迎える事ができました。悲しい事、辛い事など様々な思いや経験をされた方ほど相手の本当の気持ちに近づけ寄り添う事が出来るものだと思います。

「かけた情けは水に流し、受けた恩は石に刻め」なかなかできない私ですが、この言葉を心に留め、大勢の方々に支えられている事を忘れずに、この先少しでも皆様のお役に立てることが出来ればと願っています。

(村口 淳子)